2027年６月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月13日

上場会社名　　株式会社 物語コーポレーション　　上場取引所　東
コード番号　　3097　　ＵＲＬ　https://www.monogatari.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）加藤　央之
問合せ先責任者　（役職名）取締役 常務執行役員 財務・成長戦略担当　（氏名）津寺　毅　　ＴＥＬ　0532-63-8001

配当支払開始予定日　　ー
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．2027年６月期第１四半期の連結業績（2026年７月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年６月期第１四半期	41,572	16.7	3,635	32.9	3,515	28.3	2,407	25.4
2026年６月期第１四半期	35,599	19.6	2,733	15.6	2,738	22.4	1,918	45.8

（注）包括利益 2027年６月期第１四半期 2,545百万円 （50.1%）　2026年６月期第１四半期 1,695百万円 （36.5%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年６月期第１四半期	62.69	62.64
2026年６月期第１四半期	49.80	49.76

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年６月期第１四半期	87,262	48,881	55.9
2026年６月期	86,997	47,215	54.1

（参考）自己資本　　2027年６月期第１四半期　　48,790百万円　　2026年６月期　　47,121百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年６月期	ー	20.00	ー	23.00	43.00
2027年６月期	ー				
2027年６月期（予想）		23.00	ー	23.00	46.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年６月期の連結業績予想（2026年７月１日～2027年６月30日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期（累計）	83,736	15.8	6,496	18.7	6,359	15.5	4,042	12.0	105.27
通期	173,084	14.1	13,864	14.1	13,619	12.3	8,756	0.1	228.02

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料Ｐ．９「２．四半期連結財務諸表及び主な注記（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①	会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：無
②	①以外の会計方針の変更	：無
③	会計上の見積りの変更	：無
④	修正再表示	：無

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年６月期１Ｑ	39,202,981株	2026年６月期	39,202,981株
② 期末自己株式数	2027年６月期１Ｑ	802,578株	2026年６月期	802,578株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年６月期１Ｑ	38,400,403株	2026年６月期１Ｑ	38,518,349株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料Ｐ．４「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 4
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書 …… 7
四半期連結包括利益計算書 …… 8
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記） …… 9
（セグメント情報等の注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 9

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善とインバウンド需要の増加が支えとなり、国内の消費活動は緩やかな回復の動きが続いております。一方で、地政学リスクの長期化や金利上昇懸念などにより、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

外食業界においては、所得環境の持ち直しを背景に外食需要は堅調に推移いたしました。しかしながら、原材料価格や人件費をはじめとする運営コストの上昇が続いており、依然として厳しい経営環境が継続しております。

このような環境の中、当社グループは経営理念である「Ｓｍｉｌｅ　＆　Ｓｅｘｙ」および長期経営ビジョンの実現を目指し、2030年をターゲットとした「物語ビジョン2030」ならびに「中期３カ年経営計画2026～2028」を策定しております。「物語ビジョン2030」においては、「業態開発型リーディングカンパニー実現に向けた全方位成長戦略」を掲げ、「『業態開発力×人財力』で勝ち抜く成長戦略」のもと、「選ばれるブランドづくり」「成長を加速させる新業態・新事業開発」「海外事業の拡大」の３つを重点テーマに据えました。これらを踏まえて業態開発を推進するとともに、「人財力」を競争優位性かつ差別化の源泉と捉え、人財の育成と活躍を後押しする取り組みを通じて、持続的な企業価値の向上を目指しております。

「選ばれるブランドづくり」では、主力ブランドである『焼肉きんぐ』『丸源ラーメン』『寿司・しゃぶしゃぶゆず庵』において、ブランド競争力を強化するため、顧客体験価値の向上に取り組んでおります。具体的には、看板商品の磨きこみやサービスの質を高める仕組みづくり、多様なニーズに対応した営業時間の拡大、既存店舗の内外装の改装やテレビＣＭをはじめとするプロモーションの強化を実施いたしました。加えて、収益性の向上に向けて、都市型価格の導入や、新型特急レーンの開発、配膳ロボットの導入台数拡大などの店舗ＤＸ（デジタルトランスフォーメーション）への投資を継続いたしました。

これらの施策により、国内既存店（注）の当第１四半期連結累計期間における売上高は、直営店において前年同期比5.1%増、フランチャイズ店において前年同期比4.2%増となりました。

店舗出店においては、国内13店舗（直営９店、フランチャイズ４店）、海外11店舗（直営９店、フランチャイズ２店）の結果、当第１四半期連結会計期間末における当社グループの店舗数は939店舗（国内820店、海外119店）となりました（後掲表）。

「成長を加速させる新業態・新事業開発」では、主力ブランドに続く新たな収益の柱を育成すべく、焼肉ファストカジュアル業態『焼きたてのかるび』の展開を推進するとともに、2026年８月には郊外ロードサイド型カフェ＆ショップ業態『果実屋珈琲』の４号店目を出店いたしました。

「海外事業の拡大」では、中華圏、東南アジア、北米を注力地域と定め、各地域における業態展開と事業基盤の強化を推進しております。中華圏では、ハンバーグ専門店『肉肉大米』を中心に展開を推進しております。東南アジアでは、2026年７月にフィリピンに『焼肉きんぐ』２号店目を出店いたしました。また、北米では、米国カリフォルニア州の鉄板焼きレストラン『ＭＵＳＡＳＨＩ　ＪＡＰＡＮＥＳＥ　ＣＵＩＳＩＮＥ』をグループ化し、事業基盤の拡充を進めております。

「人財力」においては、「多様な理念型人財の採用と活躍」「個の覚醒とＤ＆Ｉ」「プロフェッショナルリーダーの育成」をテーマに据えて、注力しております。多様な理念型人財の採用や、教育・研修機会の拡充による理念経営の推進と能力開発に取り組み、従業員一人ひとりが自分らしくイキイキと働ける企業文化の醸成を図っております。加えて、環境負荷の軽減やガバナンス体制の強化に向けたサステナビリティ戦略の推進やコーポレート機能の強化にも取り組んでおります。

以上の結果により、売上高41,572百万円（前年同期比16.7%増）、営業利益3,635百万円（前年同期比32.9%増）、経常利益3,515百万円（前年同期比28.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,407百万円（前年同期比25.4%増）となりました。

（注）国内既存店とは、新規開店から18カ月以上経過している国内の店舗と定義しております。

①焼肉カテゴリー

当第１四半期連結累計期間において、『焼肉きんぐ』は３店舗の出店（直営１店、フランチャイズ２店）を実施しました。これにより、焼肉カテゴリーの当第１四半期連結会計期間末の店舗数は372店舗（直営239店、フランチャイズ133店）となりました。

以上の結果により、直営店の売上高は18,453百万円（前年同期比11.9%増）となりました。

②ラーメンカテゴリー

当第１四半期連結累計期間において、『丸源ラーメン』は２店舗の出店（フランチャイズ２店）を実施しました。これにより、ラーメンカテゴリーの当第１四半期連結会計期間末の店舗数は253店舗（直営143店、フランチャイズ110店）となりました。

以上の結果により、直営店の売上高は6,926百万円（前年同期比13.1%増）となりました。

③ゆず庵カテゴリー

当第１四半期連結累計期間において、『寿司・しゃぶしゃぶ ゆず庵』は５店舗の出店（直営５店）を実施しました。これにより、ゆず庵カテゴリーの当第１四半期連結会計期間末の店舗数は121店舗（直営104店、フランチャイズ17店）となりました。

以上の結果により、直営店の売上高は7,023百万円（前年同期比19.5%増）となりました。

④専門店・新業態カテゴリー

当第１四半期連結累計期間において、『焼きたてのかるび』は２店舗の出店（直営２店）、『果実屋珈琲』は１店舗の出店（直営１店）を実施しました。これにより、専門店・新業態カテゴリーの当第１四半期連結会計期間末の店舗数は74店舗（直営70店、フランチャイズ４店）となりました。

以上の結果により、直営店の売上高は2,643百万円（前年同期比18.9%増）となりました。

⑤フランチャイズカテゴリー

主にフランチャイズ加盟企業からの売上ロイヤルティ・加盟金・業務受託料等であります。当第１四半期連結累計期間において、フランチャイズは４店舗の出店を実施しました。これにより、当第１四半期連結会計期間末のフランチャイズ店舗数は264店舗となりました。

以上の結果により、売上高は2,133百万円（前年同期比11.4%増）となりました。

⑥海外カテゴリー

海外連結子会社による取り組みおよび海外フランチャイズ加盟企業からの売上ロイヤルティ・加盟金・業務受託料等であります。当第１四半期連結累計期間において、11店舗の出店（直営９店、フランチャイズ２店）を実施しました。これにより、海外カテゴリーの当第１四半期連結会計期間末の店舗数は119店舗（直営86店、フランチャイズ33店）となりました。

以上の結果により、売上高は4,391百万円（前年同期比47.3%増）となりました。

表　「カテゴリー別店舗数の状況」

（単位：店）

カテゴリー	直営	ＦＣ	2026年９月末 店舗数
焼肉	239	133	372
ラーメン	143	110	253
ゆず庵	104	17	121
専門店・新業態	70	4	74
国内計	556	264	820
海外	86	33	119
合計	642	297	939

（注）当期より当社および当社連結子会社が運営する店舗を「直営」、
それ以外を「ＦＣ」として記載しております。

（２）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第１四半期連結会計期間末の総資産は87,262百万円となり、前連結会計年度末と比較して264百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金が1,157百万円減少、有形固定資産が779百万円増加、売掛金が326百万円増加、投資その他の資産が343百万円増加したことによるものであります。

（負債）

当第１四半期連結会計期間末の負債は38,381百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,401百万円の減少となりました。これは主に未払法人税等が1,201百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第１四半期連結会計期間末の純資産は48,881百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,665百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金が1,523百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は55.9%（前連結会計年度末は54.1%）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年６月期の第２四半期連結累計期間および通期の業績予想につきましては、2026年８月10日に公表いたしました内容に変更はございません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年６月30日)	当第１四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,993	15,835
売掛金	6,307	6,634
商品及び製品	881	905
原材料及び貯蔵品	179	171
その他	3,433	3,339
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	27,792	26,884
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	35,900	36,191
リース資産（純額）	9	22
使用権資産（純額）	2,454	2,645
その他（純額）	7,949	8,234
有形固定資産合計	46,314	47,094
無形固定資産		
のれん	1,934	1,923
その他	2,176	2,236
無形固定資産合計	4,110	4,159
投資その他の資産		
差入保証金	6,854	7,082
その他	1,925	2,041
投資その他の資産合計	8,779	9,123
固定資産合計	59,205	60,377
資産合計	86,997	87,262

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年６月30日)	当第１四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,215	5,235
１年内返済予定の長期借入金	3,651	3,778
リース債務	191	224
未払法人税等	2,613	1,412
賞与引当金	456	909
株主優待引当金	291	399
その他	10,128	9,033
流動負債合計	22,548	20,994
固定負債		
社債	1,000	1,000
長期借入金	10,411	10,328
退職給付に係る負債	837	861
リース債務	2,171	2,356
資産除去債務	1,285	1,310
その他	1,528	1,529
固定負債合計	17,233	17,387
負債合計	39,782	38,381
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,964	5,964
資本剰余金	5,797	5,797
利益剰余金	37,703	39,227
自己株式	△2,551	△2,551
株主資本合計	46,913	48,437
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7	9
為替換算調整勘定	130	278
退職給付に係る調整累計額	69	64
その他の包括利益累計額合計	207	352
新株予約権	32	35
非支配株主持分	61	55
純資産合計	47,215	48,881
負債純資産合計	86,997	87,262

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年７月１日 至　2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年７月１日 至　2026年９月30日）
売上高	35,599	41,572
売上原価	11,941	14,107
売上総利益	23,658	27,464
販売費及び一般管理費	20,924	23,829
営業利益	2,733	3,635
営業外収益		
受取利息及び配当金	6	24
受取賃貸料	2	2
為替差益	37	－
その他	29	24
営業外収益合計	76	51
営業外費用		
支払利息	62	66
賃貸収入原価	2	2
為替差損	－	63
その他	7	38
営業外費用合計	71	171
経常利益	2,738	3,515
特別利益		
保険金収入	127	－
収用補償金	－	22
特別利益合計	127	22
特別損失		
固定資産除却損	76	1
減損損失	－	6
店舗閉鎖損失	1	18
特別損失合計	77	26
税金等調整前四半期純利益	2,788	3,511
法人税等	877	1,110
四半期純利益	1,911	2,401
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△6	△5
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,918	2,407

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年７月１日 至　2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年７月１日 至　2026年９月30日）
四半期純利益	1,911	2,401
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	1
為替換算調整勘定	△220	146
退職給付に係る調整額	2	△4
その他の包括利益合計	△216	144
四半期包括利益	1,695	2,545
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,701	2,552
非支配株主に係る四半期包括利益	△6	△6

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等の注記）

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　2025年７月１日　至　2025年９月30日）

当社は、飲食店事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　2026年７月１日　至　2026年９月30日）

当社は、飲食店事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第１四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第１四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年７月１日 至　2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年７月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	1,330百万円	1,539百万円
のれん償却額	47	67